

苦勞辱との6年間

板橋 正憲
(よこはま動物園)

2015年1月に名古屋市東山動植物園から導入したヒガシクロサイのオスと、同年6月にドイツ連邦共和国・ベルリン動物園から導入したメスの馴致・同居状況について、2017年秋以降の経過を報告する。

メスについては2017年6月に開始した馴致の結果、屋内展示や屋内でのガイドが可能となった。オスとメスの同居は2018年12月以降の休園日に実施していたが、2020年冬からの新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休園の際に飛躍的に回数を重ね、一定程度の進展をみた。ところが同年5月からメスが動物舎と展示場の間に存在する平面交差に入らなくなった。1年半をかけて再度馴致を行った結果、1カ月間で11回、メスを単独で展示が出来るまでに回復した。これまでの経験から、今後オス・メスの同居を実施するためにはサブ運動場を改良する必要があると考える。